

令和6年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導計画及び年間評価計画（兼シラバス）

科目	学年	教科書名・出版社	授業担当者	単位数
	学科			
現代の国語	2年	第一学習社		2
	農業食品科・グリーン環境科・社会福祉科			
科目の目標				
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能をICTや辞書、補助教材を用いて身に付けるようにする。</p> <p>(2) 協働的かつ対話的な活動をとおして論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 各種検定試験の受検や作文コンクールへの主体的な参加を促しながら言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
評価の観点別割合	知識・技能		40	
	思考・判断・表現		30	
	主体的に学習に取り組む態度		30	

定期考査実施時期：1学期期末考査(6月下旬)、  
2学期中間考査(10月上旬)、2学期期末考査(12月下旬)、学年末考査(2月上旬)など

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準	
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度	
4	新しい出会い「ナマケモノになる」(辻信一)①	2	筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について。	○筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。 □漢字、語句、内容解釈	【知技】①話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。②常用漢字を文や文章の中で活用している。③語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫している。	
4	新しい出会い「ナマケモノになる」(辻信一)②	2	筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について。	○筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。 □意見論述	【知技】①話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。②常用漢字を文や文章の中で活用している。③語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】文章を読み、自分の意見や考えを論述しようとしている。	
5	書いて伝える「書き方の基礎レッスン」①	2	表記・表現の基本ルール。接続表現の種類や用法。比喩などの表現技法。	○□表記・表現の基本ルールを理解する。接続表現の種類や用法を理解する。比喩などの表現技法を理解する。	【知技】①文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。②比喩や例示などの修辞を理解している。③主張と論拠など、情報と情報との関係を理 【思判表】①自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成や展開を工夫できる。②自分の考えが的確に伝わるよう、根拠を示したり説明したりできる。 【主体的】相手の理解を得られるように表現を工夫する方法を学ぼうとしている。	
5	書いて伝える「書き方の基礎レッスン」②	2	表記・表現の基本ルール。接続表現の種類や用法。比喩などの表現技法。	○□表記・表現の基本ルールを理解する。接続表現の種類や用法を理解する。比喩などの表現技法を理解する。	【知技】①文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。②比喩や例示などの修辞を理解している。③主張と論拠など、情報と情報との関係を理 【思判表】目的や意図に応じて適切な題材を決め、情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝える内容を明確にすることができる。 【主体的】相手の理解を得られるように表現を工夫する方法を学ぼうとしている。	
5	書いて伝える「身近な製品の取扱説明書を作成する」①	2	情報を的確に説明する方法。情報を相手にわかりやすく説明する方法。わかりやすい説明の実践。	○□情報を的確に説明する方法を理解する。情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。わかりやすい説明を実践できるようになる。	【知技】①文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。②比喩や例示などの修辞を理解している。③主張と論拠など、情報と情報との関係を理 【思判表】目的や意図に応じて適切な題材を決め、情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝える内容を明確にすることができる。 【主体的】相手の理解を得られるように表現を工夫することができる。	
5	書いて伝える「身近な製品の取扱説明書を作成する」②	2	情報を的確に説明する方法。情報を相手にわかりやすく説明する方法。わかりやすい説明の実践。	○□情報を的確に説明する方法を理解する。情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。わかりやすい説明を実践できるようになる。	【知技】①文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。②比喩や例示などの修辞を理解している。③主張と論拠など、情報と情報との関係を理 【思判表】目的や意図に応じて適切な題材を決め、情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝える内容を明確にすることができる。 【主体的】相手の理解を得られるように表現を工夫することができる。	

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
6	言葉が開く世界「言語としてのピクトグラム」(本田弘之)①	3	ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について。	○ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 □語句、漢字、内容解釈	【知技】①話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。②常用漢字を文や文章の中で活用している。③語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫している。
6	言葉が開く世界「言語としてのピクトグラム」(本田弘之)②	3	ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について。	○ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 □意見論述	【知技】①話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。②常用漢字を文や文章の中で活用している。③語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】文章を読み、自分の意見や考えを論述しようとしている。
7	話して伝える「話し方の工夫」①	2	話し言葉と書き言葉の特徴。相手・目的・場面に応じた言葉遣い。相手により伝わりやすい表現方法。	○□話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	【知技】①話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解し、活用できる。②比喩、例示などの修辞や、直接的な述べ方と婉曲的な述べ方について理解 【思判表】目的や場に応じて適切な話題を決め、情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【主体的】①資料や機器を効果的に用いるなど表現のしかたを工夫している。②話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。
7	話して伝える「話し方の工夫」②	2	話し言葉と書き言葉の特徴。相手・目的・場面に応じた言葉遣い。相手により伝わりやすい表現方法。	○□話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	【知技】①主張と論拠など、情報と情報との関係を理解している。②情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解し、活用している。 【思判表】自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、話(文章)の構成や展開を工夫している。 【主体的】①資料や機器を効果的に用いるなど表現のしかたを工夫している。②話し合いのしかたや結論の出し方を工夫している。
9	人間の風景「臆病な詩人、街へ出る」(文月悠光)①	3	他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とするよう指導する。	○他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とする。 □語句、漢字、内容解釈	【知技】①常用漢字を文や文章の中で活用できる。②語句の量を増やし、語彙が豊かである。③主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解し 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫している。
9	人間の風景「臆病な詩人、街へ出る」(文月悠光)②	3	他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とするよう指導する。	○他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とする。 □意見論述	【知技】①常用漢字を文や文章の中で活用できる。②語句の量を増やし、語彙が豊かである。③主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解し 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】文章を読み、自分の意見や考えを論述しようとしている。

月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
10	話して伝える「待遇表現」	2	敬語表現を意識した言葉遣い。敬語表現が選択される視点。相手や場に応じた表現の選択。	○□敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。敬語表現が選択される視点を理解する。相手や場に応じた表現が選択できるようになる。	【知技】敬語表現を理解し、相手や場に応じた表現が選択できる。 【思判表】目的や場に応じて適切な話題を決め、情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【主体的】敬語表現を理解し、相手や場に応じた表現を実践しようとしている。
10	話して伝える「論理的な表現」	2	論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について。説得力を意識した表現のしかたについて。	○□論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。説得力を意識した表現のしかたについて理解する。	【知技】①主張と論拠など、情報と情報との関係を理解している。②情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解し、活用できる。 【思判表】自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、話(文章)の構成や展開を工夫している。 【主体的】話を聞いて内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価する方法を学び、実践しようとしている。
11	社会と人間「『弱いロボット』の誕生」(岡田美智男)①	3	「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深められるよう指導する。	○「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 □漢字、語句、内容解釈	【知技】①常用漢字を文や文章の中で活用できる。②語句の量を増やし、語彙が豊かである。③例示などの修辞を理解している。 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫している。
11	社会と人間「『弱いロボット』の誕生」(岡田美智男)②	3	「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深められるよう指導する。	○「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 □意見論述	【知技】①常用漢字を文や文章の中で活用できる。②語句の量を増やし、語彙が豊かである。③主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解し 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】文章を読み、自分の意見や考えを論述しようとしている。
12	生活の中の表現「法律の改正に関わる文章を読み比べる」①	2	改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめるよう指導する。	○改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。 □グループワーク	【知技】情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解し、活用している。 【思判表】①文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈できる。②異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめること 【主体的】異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことを互いに伝え合い、協力してまとめようとしている。
12	生活の中の表現「法律の改正に関わる文章を読み比べる」②	2	改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめるよう指導する。	○改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。 □発表	【知技】情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解し、活用している。 【思判表】①文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈できる。②異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめること 【主体的】異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことを互いに伝え合い、まとめたものを協力して発表することができる。



月	単元	時間	指導事項	○学習内容 □学習事項等	単元の評価基準
					【知 技】:知識・技能 【思判表】:思考・判断・表現 【主体的】:主体的に学習に取り組む態度
1	現代と社会「イースター島になぜ森がないのか」(鷲谷いづみ)①	3	イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察するよう指導する。	○イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 □漢字、語句、内容解釈	【知技】①常用漢字を文や文章の中で活用できる。②語句の量を増やし、語彙が豊かである。③例示などの修辞を理解している。 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫している。
1	現代と社会「イースター島になぜ森がないのか」(鷲谷いづみ)②	3	イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察するよう指導する。	○イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 □意見論述	【知技】①常用漢字を文や文章の中で活用できる。②語句の量を増やし、語彙が豊かである。③主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解し 【思判表】①内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。②文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解 【主体的】文章を読み、自分の意見や考えを論述しようとしている。
2	話して伝える「スピーチで自分を伝える」①	3	自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践するよう指導する。他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法について指導する。	○自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 □スピーチの実践	【知技】①話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解し、活用できる。②比喩、例示などの修辞や、直接的な述べ方と婉曲的な述べ方について理解 【思判表】自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、話(文章)の構成や展開を工夫している。 【主体的】話を聞いて内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価する方法を学び、実践しようとしている。
2	話して伝える「スピーチで自分を伝える」②	3	自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践するよう指導する。他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法について指導する。	○自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 □スピーチの実践	【知技】①話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解し、活用できる。②比喩、例示などの修辞や、直接的な述べ方と婉曲的な述べ方について理解 【思判表】自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、話(文章)の構成や展開を工夫している。 【主体的】話を聞いて内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価する方法を学び、実践しようとしている。
3	書いて伝える「社会に対する意見文を書く」①	3	意見文とはどういうものかを理解できるよう指導する。自分の経験の中から意見を導き出せるようになるよう指導する。意見文の書き方を理解し、実践し、評価できるよう指導する。	○意見文とはどういうものかを理解する。自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。 □意見文を書く	【知技】①文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。②比喩や例示などの修辞を理解している。③主張と論拠など、情報と情報との関係を理 【思判表】目的や意図に応じて適切な題材を決め、情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝える内容を明確にすることができる。 【主体的】相手の理解を得られるように表現を工夫することができる。
3	書いて伝える「社会に対する意見文を書く」②	3	意見文とはどういうものかを理解できるよう指導する。自分の経験の中から意見を導き出せるようになるよう指導する。意見文の書き方を理解し、実践し、評価できるよう指導する。	○意見文とはどういうものかを理解する。自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。 □意見文を書く	【知技】①文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。②比喩や例示などの修辞を理解している。③主張と論拠など、情報と情報との関係を理 【思判表】自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、話(文章)の構成や展開を工夫している。 【主体的】文章を読んで内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価する方法を学び、実践しようとしている。

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
地理総合	普通科2年 総合ビジネス科2年	2

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 地理総合（東京書籍） <input type="checkbox"/> 地図帳 新高等地図（東京書籍） <input type="checkbox"/> 資料集 新編フォトグラフィア地理図説 2024（とうほう）
-------------	---

科目の目標		
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを系統的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、ICTも活用しながら調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、協働的な学習をとおして地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>	<p>地理に関わる諸事情について、地域に関する学びや体験等を踏まえてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B評価の規準</b> <b>[わかった・できた]</b> ・各時間の「問い」や「課題」に対して、ポイントとなる語句を理解し、キーワードとして挙げるができる。 ・各時間の「問い」や「課題」に対する答えを導くために、資料から必要な情報や見方・考え方を読み取ることができる。	<b>B評価の規準</b> <b>[よく考え、意見を持ち、説明できた]</b> ・各時間の「問い」や「課題」に対して、 ①どんな概念や資料を用いれば良いか、見出すことができる。 ②テーマを把握し、社会の状況や実体験と考え合わせて、課題の本質や解決策について多面的・多角的に考察している。 ③他者の意見との違いを整理しながら、自己の考えをまとめ、表現している。	<b>B評価の規準</b> <b>[粘り強さ]</b> ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、各時間の「問い」や「課題」に対して答えや解決策を導こうとしている。 <b>[自分なりの工夫]</b> ・これまでの学びの振り返りを生かして、ノートを取り方などを工夫している。また、仲間と協働して学び合うことで自己の考えを深めようとしている。さらに、各時間の「問い」や「課題」を自らの問題として捉え、主体的な答えや解決策を導こうとしている。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価は、単元テスト及び定期考査でも行います。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1-1 私たちが暮らす世界	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間、地球は眠らない。</li> <li>・丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。</li> <li>・小さな島が、大きな意味を持つのはなぜ？</li> </ul>
5	1-2 地図や地理情報システムの役割	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を使わない人は、ほとんどいない。</li> <li>・地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。</li> <li>・このテーマ、どんな地図で表すべきか。</li> <li>・地図の可能性は、まだまだ広がる。</li> </ul>
6	1-3 資料から読み取る現代世界	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球は、どんどん小さくなっている？</li> <li>・世界中が、ネットでつながりはしたけれど。</li> <li>・仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国どうしの貿易は、どう変化しているのか。</li> <li>・国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう？</li> </ul>
7	2-1-1 生活文化の多様性と国際理解	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉じゃがと言えば？「牛肉だ！」「豚肉だ！」</li> <li>・宗教に根ざした、習慣や文化がある。</li> </ul>
	2-1-2 生活文化と自然環境①地形	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山に住むには、どんな工夫が必要なのか。</li> <li>・流れる川が、地形を変えていく。</li> <li>・さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。</li> </ul>
8 9	2-1-3 生活文化と自然環境②気候	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜこれほど違う？暑さ、寒さ、雨の量。</li> <li>・強い日差しと激しい雨。人々の暮らしと農業は？</li> <li>・雨が少ない！どうやって水を得る？</li> <li>・クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。</li> <li>・長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは？</li> </ul>
10	2-1-4 生活文化と産業	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか？</li> <li>・工場は、どんな理由でどんな場所に建つのか。</li> <li>・売り方も、買い方も、社会とともに変化する。</li> <li>・ものづくりも働き方もICTが変えていく。</li> </ul>
11	2-2-1 地球環境問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気と海に、何が起きているのだろうか。</li> <li>・森林減少と砂漠化、その原因を探る。</li> </ul>
	2-2-2 資源・エネルギー問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが、欲しがらる。だから、取り合いに。</li> <li>・地球を、「電池切れ」にさせないために。</li> </ul>
	2-2-3 人口問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が増えたのはなぜ？何が問題なのだろうか。</li> <li>・若者が減り、高齢者が増えるとどうなる？</li> </ul>
12	2-2-4 食糧問題	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増産しても、まだ足りない。なぜだろう。</li> </ul>
	2-2-5 居住・都市問題	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人は、何を求めて都市に向かうのか。</li> <li>・なぜ、再開発が必要なのか。</li> </ul>
	2-2-6 民族問題	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くり返す対立で、国を追われる人々がいる。</li> </ul>
1 2	2-2-7 持続可能な社会の実現をめざして	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。</li> </ul>
	3-1-1 日本の自然環境の特色	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火山や、流れの速い川。日本は動き続けている。</li> <li>・四季ある国の、季節ごとの天候は？</li> </ul>
	3-1-2 さまざまな自然災害と防災	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震が発生するメカニズムとは。</li> <li>・くり返す地震を、災害史から学ぶ。</li> <li>・火山をよく知り、共存していくために。</li> <li>・雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす？</li> <li>・大雨で、あふれる水。何が起こるのだろうか。</li> <li>・都市を襲う災害、危険はどこにある？</li> <li>・地域を災害から守るため、いま、できることは？</li> </ul>



3	3-2 生活圏の調査と地域の展望	4	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校のまわりの、地理的テーマを探せ！</li><li>・「○○かな？」まずは仮説を立ててスタート。</li><li>・どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。</li><li>・地域のこれからは、皆で考えていくために。</li></ul>
---	------------------	---	---

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
数学A	農業食品科2年 グリーン環境科2年 社会福祉科2年	2

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 新高校の数学A (数研出版) <input type="checkbox"/> 問題集 ポイントノート数学A (数研出版)
-------------	---

科目の目標		
<p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>集合と命題について理解し、基本的な知識を身に付けている。</p> <p>和の法則、積の法則、そして順列・組合せの考えを理解して、場合の数を求め、それから確率を求めるための知識を身に付けている。具体的な事象の起こりうる場合の数を順列や組合せの考えを用いて表現し、確率の基本性質を活用して、その確率を求めることができる。</p> <p>図形の性質を系統的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。図形の性質が論理的に正</p>	<p>集合の関係を図を用いて考察することができる。</p> <p>順列・組合せなどの場合の数の求め方を身に付け、具体的な事象の確率を考察することができる。</p> <p>図形の見方を豊かにするとともに、図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。</p> <p>人間の活動について、整数の性質で学んできたことをもとに考察しようとする。</p>	<p>集合に関心を持つとともに、その有用性を認識し、それらを問題の解決に活用しようとする。</p> <p>不確定な事象を数学的に捉えることの有用性を認識し、具体的な事象の考察に活用しようとする。</p> <p>三角形や円など図形の性質に関心を持つとともに、それらの有用性を認識し、問題の解決に活用しようとする。</p> <p>人間の活動を理解するために、数学を活用しようとする。</p>

しいことを的確に表現することができる。 整数に関する概念などと人間の活動の関わりについて、数学的な見方で理解することができる。		
--	--	--

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・学習内容を暗記するのではなく、図形や文字などから概念として理解できる。 ・練習問題などの演習に自ら取り組み、立式から計算まで完結して解答できる。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・発展的な問題にも学習した知識を組み合わせ、論理的に考察して解法を表現できる。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ] ・課題に計画的に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、短期・中期の課題を解決していくことができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	場合の数と確率	3	・集合の要素の個数 ・場合の数
5	場合の数と集合	5	・順列 ・組み合わせ

6	場合の数と確率	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな順列</li> <li>・事象と確率</li> </ul>
7	場合の数と確率	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の基本性質</li> <li>・期待値</li> </ul>
8	確率と場合の数	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立な試行</li> </ul>
9	確率の場合の数	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復試行</li> <li>・条件付き確率</li> </ul>
10	図形の性質	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線と角</li> </ul>
11	図形の性質	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形の重心・外心・内心・垂心</li> <li>・チェバの定理とメネラウスの定理</li> </ul>
12	図形の性質	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円周角</li> <li>・円と直線</li> <li>・2つの円の位置関係</li> </ul>
1	図形の性質	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面と直線</li> <li>・多面体</li> </ul>
2	数学と人間の活動	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユークリッドの互除法</li> <li>・二元一次不定方程式</li> </ul>
3	数学と人間の活動	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倍数の判定</li> <li>・位取り記数法とn進法</li> </ul>



## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
生物基礎	農業食品科、 グリーン環境科2年 社会福祉科3年	2

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 i版 生物基礎（啓林館） <input type="checkbox"/> 研究ノート（博洋社）
-------------	--

科目の目標		
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を計りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育う。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養うことが重要である。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・学習活動に真剣に取り組 み、確認テスト等で振り返 ることができている。 ・観察及び実験の方法を正し く理解し、結果をまとめるこ とができる。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説 明できた] ・学習活動に真剣に取り組 み、仲間と協力して考え、提 案や発表ができる。 ・観察及び実験に仲間と協 力して取り組み、自分や班 の考えを記述できている。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、内容も学 習内容に沿っている。 [自分なりの工夫] ・教師の説明をメモしたり、自分な りのまとめをしたりするなど、独自の工 夫及び記述がある。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に 迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主 に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時 数	学習項目
4	生物の特徴	6	生物の共通性と多様性
5		7	生物とエネルギー
6	遺伝子とその働き	7	遺伝情報とDNA
7		8	遺伝情報とタンパク質の合成
8			
9	神経系と内分泌系による調節	5	情報の伝達
10		7	体内環境の維持の仕組み
11	免疫	8	免疫の働き
12	植生と遷移	8	植生と遷移
1	生態系とその保全	5	生態系と生物の多様性
2		5	生態系のバランスと保全
3		2	生態系のバランスと保全

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
体育	2年 AGW 科	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>B 評価の規準</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を通して技術の名称や実践、ルールやマナーを理解しようとしている。</li> <li>・課題解決法、練習法、試合法を理解しようとしている。</li> </ul>	<p><b>B 評価の規準</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートに毎時の反省を記入し、自己評価をしようとしている。</li> <li>・互いに助け合い、教えあい、高め合おうとしている。</li> <li>・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしている。</li> </ul>	<p><b>B 評価の規準</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備運動の声出し、活動時の周囲への声掛け、準備・片付けを積極的に行おうとしている。</li> <li>・活動の目的を理解し、実践しようとしている。</li> <li>・他者と協力して周囲に配慮をしようとしている。</li> <li>・健康・安全を確保しようとしている。</li> <li>・授業に積極的に参加しようとしている。</li> </ul>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテスト、体育理論で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		



学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	10	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	球技（選択①）	8	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
6	球技（選択①）	2	
	水泳	8	クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ 複数の泳法で泳ぐ、又はリレー。 着衣泳
7	水泳		
	体育理論	2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境
8	球技（選択②）	2	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
9	球技（選択②）	8	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン

			<input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技（選択③）	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11	陸上競技（長距離走）	8	20分間走・4キロ走
12	陸上競技		20分間走・4キロ走
1	ダンス 球技	6	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
2	ダンス 球技	6	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
3	ダンス 球技	4	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
保健	2年 AGW 科	1

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> ・単元テストの内容を理解しようとしている。	<b>B 評価の規準</b> ・単元の内容を理解し、文章表現しようとしている。 ・グループワークでの話し合いにより、単元の学びを深めようとしている。 ・発表の内容を分かりやすく説明したりスライドにまとめたりしようとしている。	<b>B 評価の規準</b> ・互いに協力して教え合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ライフステージと健康	1	座学、単元テスト
5	思春期と健康	1	座学、単元テスト
6	性意識と性行動の選択	6	調べ学習（グループワーク）
7	妊娠・出産と健康		
	避妊法と人工妊娠中絶		
	結婚生活と健康 中高年期と健康		
		1	クラス別発表（グループ）
8	働くことと健康	2	座学、単元テスト
9	労働災害と健康		
10	健康的な職業生活		
11	大気汚染と健康	3	調べ学習（グループワーク）
12	水質汚濁、土壌汚染と健康		
	環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備		
		1	クラス別発表（グループ）

1	さまざまな保健活動や社会的対策	1	座学、単元テスト
2	健康に関する環境づくりと社会参加	1	座学、単元テスト
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の安全性</li> <li>食品衛生にかかわる活動</li> <li>保健サービスとその活用</li> <li>医療サービスとその活用</li> <li>医薬品の制度とその活用</li> </ul>	5	調べ学習（グループワーク）
		1	クラス別発表・学年発表（グループ）

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
音楽Ⅱ	普通科2年S類型、 農業食品科2年、グ リーン環境科2年	2

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 MOUSA I (教育芸術社) <input type="checkbox"/> 高校生の歌集 つどい
-------------	---

科目の目標		
音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。	<b>B 評価の規準</b> [自ら表現意図を持っている] ・自己のイメージをもって歌唱、器楽表現ができてい           る。	<b>B 評価の規準</b> [主体的・協働的] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、発表ができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、実技試験で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	<b>【歌唱】</b> 曲種に応じた発声の方法や個性豊かな表現について学び、歌おう。	6	Alleluja 「ヴォイス・トレーニング」 糸 浜辺の歌 からたちの花
5 6	<b>【器楽】</b> ギターの弾き歌いをしよう	10	Kaimana Hila Happy Birthday to you 天体観測

6	<b>【鑑賞】</b>	8	映画を彩る音楽
7	映画音楽 実技試験		映画「ハリーポッターと賢者の石」
8	<b>【歌唱】【鑑賞】</b>	8	歌唱：The Phantom of the Opera
9	ミュージカル・ナンバーを歌おう		鑑賞：ミュージカル《オペラ座の怪人》
10	<b>【器楽・創作】</b>	8	基本奏法を身に付ける
11	和楽器（箏）に親しみ，演奏と創作 活動に挑戦。		音階練習 さくら オリジナルさくら変奏曲
11	<b>【歌唱】</b>	8	菩提樹/フニクリフニクラ
12	さまざまな歌唱表現Ⅱ		Nel cor piu mi sento
	<b>【器楽】</b>		愛のロマンス
	ギター独奏や弾き歌い 実技試験		
1	<b>【歌唱】</b>	8	歌唱：赤とんぼ/上を向いて歩こう
2	曲の特徴やパートの役割を理解しながらボイスアンサンブルをしよう。		鑑賞：オペラ《リゴレット》 オペラ《トゥーランドット》
	<b>【鑑賞】</b>		
	オペラ・アリア、作曲者について学び鑑賞しよう。		
3	<b>【鑑賞】</b>	4	歌舞伎《京鹿子娘道成寺》
	日本の伝統音楽について学び楽曲を鑑賞しよう。		薩摩琵琶《川中島》
	1年間のまとめ		



## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
美術Ⅱ	普通科S類型、農業食品科、グリーン環境科2年	2

使用教材	□美術2（光村図書）
------	------------

科目の目標		
美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
33%	33%	34%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B評価の規準</b> [わかった・できた] ・題材に関する知識を学び取るっている。 ・題材を表現するための道具を扱う技術、技法を理解している。 ・美術作品の良さ、作家の表現の意図や工夫を学び取ろうとしている。	<b>B評価の規準</b> [よく考え、考えをまとめ、表現できた] ・題材の特徴を捉え、主題を考え、構想している。 ・構想をもとに素材の特性を理解しながら表現しようとしている。	<b>B評価の規準</b> [粘り強さ] [自分なりの工夫] ・学習活動に真剣に取り組んでいる。 ・構想をもとに自分なりの表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。 ・他者の作品の良さを感じ、学び取ろうとしている。  ※作品の未提出や私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価になります。
※定期考査なし。授業態度、作品制作、提出物で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・年間の目標や美術の領域を理解する
5	「写真の単純化」 ～ポスタリゼーション～	9	・ポスタリゼーションを用いた美術作品の鑑賞 ・アクリル絵の具の特性と扱い方 ・平塗り技法の知識と習得 ・ポスタリゼーションに適切な写真の選定と効果的な構図の設定 ・色面のグラデーションに合わせた色作りと着色について ・相互鑑賞
6	「採集するように撮影する」 ・シリーズ写真撮影、編集	10	・写真家ベルント・ベッヒャー、ヒラ・ベッヒャーの作品鑑賞を通してシリーズ写真の表現意図や面白さについて学ぶ ・写真撮影の基本の知識や技術について学ぶ
7			

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真撮影</li> <li>・写真の編集方法を学び、ポートフォリオにまとめる</li> </ul> ○相互鑑賞
8			
9	「比べて鑑賞する」 ～自分が座りたい椅子～	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン史を代表するイスのデザインを鑑賞して作者の制作意図や工夫、面白さを感じ取る</li> <li>・主題を決め、それが伝わるデザイン画を描く</li> <li>・デザイン画をもとにマケットを制作する</li> <li>・自分の椅子のデザインの狙いをプレゼンテーションにまとめ上げる</li> </ul>
10	・椅子のデザインのデザイン画を描き、それをもとにマケット（模型）を制作する		
11	・デザイン画とマケットをもとに自分の椅子をプレゼンテーションする		
12	「日本美術史」	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代から現代までの日本美術の特徴を学び、日本美術が持つ、時代性、民族性、風土、宗教など他国の美術との相違点や共通点について考えや見方、感じ方を深める</li> </ul>
1	「住まいをデザインする」 ～自分の住みたい家～	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物を設計する時には、建築模型を作成されることを知る</li> <li>・住みたい家のデザイン画を描く</li> <li>・住みたい家の建築模型を制作</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>
2	・建築模型制作		
3			

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
書道Ⅱ	普通科S類型、農業食品科、グリーン環境科2年	2

使用教材	□書Ⅱ(光村図書)
------	-----------

科目の目標		
<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p>	<p>主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 ・単元に関する知識を学び取っている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・用筆、運筆、字形を構想し工夫し、相手に伝えることができている。 ・全体の調和や目的に則した表現形式など、意図に基づいて構想・工夫し、相手に伝えることができている。	B 評価の規準 [主体的] ・書の学習を通して自らの創造的な力を高めようとしている。自らの感性を高め、書の伝統と文化に親しもうとしている。 [粘り強さ] ・表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。
※定期考査は実施しません。 提出された作品やワークシート、授業態度で評価します。		※作品やワークシートの未提出、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人は C 評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・書道Ⅱの1年間の学びを知る。
	【漢字の書】 篆書の学習	2	・篆書の成立 ・篆書の特徴
5	篆書の臨書 ・「泰山刻石」	5	・「泰山刻石」の学習と臨書 字形は、おおむね縦長で左右相称 横画は水平、縦画は垂直 転折は丸く滑らか 起筆は蔵鋒 送筆は中鋒で線の太さは均一 ・篆書での創作

6	<p>隸書の学習</p> <p>隸書の臨書</p> <p>・「乙瑛碑」</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隸書の成立</li> <li>・隸書の特徴</li> <li>・「乙瑛碑」の学習と臨書</li> <li>字形はおおむね扁平</li> <li>横画は水平で等間隔</li> <li>起筆は蔵鋒</li> <li>送筆は中鋒</li> <li>波磔がある</li> <li>・隸書での創作</li> </ul>
7	<p><b>【篆刻】</b></p> <p>篆刻の学習</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆刻について</li> <li>・印稿を考える</li> <li>・刻す</li> <li>・押印</li> <li>・鑑賞</li> </ul>
8			
9			
10	<p><b>【漢字仮名交じりの書】</b></p> <p>漢字仮名交じりの書の創作</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片仮名での表現等を用いた自由創作</li> <li>・風景を書で表現する。</li> <li>・タブレットを使用した作品制作</li> </ul>
11			
12	<p><b>【漢字の書】</b></p> <p>漢字創作の学習</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習古典をもとにした漢字作品の創作</li> <li>・半切2分の1を使用した作品制作</li> </ul>
1			
2	<p><b>【実用書式】</b></p>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常に生きる書表現</li> <li>身近にある筆で書かれたものを探し、書文化に親しむ</li> <li>・日常筆記</li> <li>履歴書</li> <li>手紙</li> </ul>
3			

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
英語コミュニケーションⅡ	農業食品科 グリーン環境科 社会福祉科 2年	3

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> VISTA English Communication II (三省堂)
-------------	---

科目の目標		
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの Lesson において、新しく学習する文法事項や、これまで学習した文法事項の表現に注意しながら、内容を理解する技能を身に付けている。</li> <li>・文章の趣旨を考えながら、その内容について詳しく話して伝える技能を身に付けている。</li> <li>・文章の内容について基本的な語句や文を用いて、詳しく書いたりする技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章についての概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。</li> <li>・文章の趣旨を考えながら、その内容について詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</li> <li>・文章の内容について基本的な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章についての概要や要点、必要な情報を、主体的に聞き取って捉えようとしている。</li> <li>・理解を深めるために、文章の趣旨を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。</li> <li>・文章の趣旨を考えながら、その内容について主体的に詳しく話して伝えようとしている。</li> <li>・文章の内容について基本的な語句や文を用いて、主体的に詳しく書いて伝えようとしている。</li> </ul>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> <b>[文法理解]</b> ・文法について理解しており、プリントやノート等に適切にまとめている。 <b>[話すこと、書くこと]</b> ・本文の内容について、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話したり、書いたりして伝える技能を身につけている。	<b>B 評価の規準</b> <b>[話すこと]</b> ・本文の内容について、情報や考え、気持ち等を論理的に伝えたり、話したりしている。 <b>[書くこと]</b> ・本文の内容について、情報や考え、気持ち等を論理的に書いて伝えている。	<b>B 評価の規準</b> <b>[書くこと]</b> ・本文の内容について、話し手に配慮しながら、主体的に話を聞き、聞いた内容をプリントやノート等に適切にまとめている。 <b>[読むこと、話すこと]</b> ・本文の内容について、聞き手に配慮しながら、主体的に書かれていることについて読んだり、話したりしている（発音練習、発表などが含まれます）。
※「知識・技能」は、定期考査や単元テストで主に判断します。 ※「思考・判断・表現」は、定期考査やスピーキングテスト等で主に判断します。		※授業への不参加や授業中の居眠りが目立ったり、私語が多く周囲の学習の妨げになる場合はC評価となります。
成果や内容が特に顕著な場合は A評価 とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 ・ 5	<b>授業オリエンテーション</b>	1	・授業の進め方、学習方法についての説明 ・年間学習指導計画及び評価基準の説明
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ALTとのティームティーチングを実施（月に2～3時間程度）</li> <li>● 個別にスピーキングテストを実施（年2回、1・3学期）</li> </ul> </div>			
	<b>Lesson 1</b> Section 1 メキシコのゲラゲッツア祭り	3	・「ゲラゲッツア祭り」に込められた願いを読み取る ・動詞＋目的語＋to 不定詞の文法構造・用法を理解する
	Section 2 ニューージーランドのパフォーマンズ、ハカ	3	・ラグビーの試合で行われる「ハカ」に込められた思いを読み取る ・疑問詞＋to 不定詞の文法構造・用法を理解する



	Section 3 世界最古の舞踊の一つ、インド舞踊	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インド映画でダンスシーンが多く使われている理由を読み取る</li> <li>・さまざまな伝統舞踊／映画について、意見や感想を交換する</li> </ul>
	まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな伝統舞踊を紹介するテレビ番組について読んだ内容について、書いて要点をまとめたり、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う</li> </ul>
6	<b>Lesson 2</b>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・cake がこの慣用句に使われている理由を読み取る</li> <li>・疑問詞で始まる節の文法構造・用法を理解する</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Section 1 慣用句 “a piece of cake” の表す意味</li> </ul>		
	Section 2 慣用句 “a pie in the sky” の表す意味	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・pie や rice cake がこの慣用句に用いられている理由を読み取る</li> <li>・if で始まる節の文法構造・用法を理解する</li> </ul>
	Section 3 慣用句 “fight like cats and dogs” の表す意味	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラウン先生が海や萌にどんなことを気づかせたかを読み取る</li> <li>・英語と日本語の慣用句／動物について、意見を交換する</li> </ul>
	まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語と日本語の慣用句についての対話について読んだ内容について、書いて要点をまとめたり、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う</li> </ul>
7	表現活動	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由英作文や発表を実施</li> </ul>
8	<b>Lesson 3</b>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エイミーはなぜクオッカを紹介したいと考えたのかを読み取る</li> <li>・使役動詞の文法構造・用法を理解する</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Section 1 オーストラリアに生息するクオッカの特徴</li> </ul>		
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Section 2 クオッカがロットネスト島に多く生息している理由</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間による開拓が生態系に及ぼす影響について読み取る</li> <li>・知覚動詞の文法構造・用法を理解する</li> </ul>
	Section 3 クオッカが世界一幸せな動物と言われる理由	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クオッカに触ったりえさを与えたりすることが禁止されている理由を読み取る</li> <li>・クオッカ／絶滅危惧種などについて、意見を交換する</li> </ul>
	まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クオッカ／絶滅危惧種などについて読んだ内容について、書いて要点をまとめたり、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う</li> </ul>

10	<b>Lesson 4</b>	3	・切手をデザインするのに、なぜ長い時間がかかるのかを読み取る
11	・ Section 1 切手デザイナーという仕事		・形式主語 it の文法構造・用法を理解する
	Section 2 東日本大震災の切手に込めた思い	3	・東日本大震災の切手のデザインが、玉木さんの印象に残っている理由を読み取る ・形式目的語 it の文法構造・用法を理解する
	Section 3 切手をデザインする仕事のやりがい	3	・日本だけでなく世界の人々が楽しめる切手とはどのようなものかを読み取る ・切手について、意見や感想を交換する
	まとめ	2	・切手／英語学習／切手についての発表へのコメントについてやりとりしたり、家事について感じていること／日本の切手についての紹介を書いて発表する
12	表現活動	3	・自由英作文や発表を実施
12	<b>Lesson 5</b>	3	・モン・サン・ミシェルが世界遺産に登録された経緯を読み取る
1	・ Section 1 人気の世界遺産、モン・サン・ミシェル		・現在完了進行形の文法構造・用法を理解する
	Section 2 モン・サン・ミシェルの建立の伝説と建立後の変化	3	・堤防道路の完成後、人々のモン・サン・ミシェルに対する印象について読み取る ・過去完了形、過去完了進行形の文法構造・用法を理解する
	Section 3 便利になって生じた問題とそれに対する方策	3	・モン・サン・ミシェルが人気の世界遺産になった陰にある人々の努力を読み取る ・モン・サン・ミシェルについて、意見や感想を交換する
	まとめ	2	・モン・サン・ミシェル／趣味／日本の世界遺産について、読んだり聞いたりした内容の要点をまとめたり、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを書く
2	表現活動	3	・自由英作文や発表を実施
2	<b>Lesson 6</b>	3	・なぜ農家の減少と高齢化が生じているのかを読み取る
3	・ Section 1 日本の農業の課題とスマート農業		・現在完了形の受け身の文法構造・用法を理解する
	Section 2 スマート農業で活躍するロボット	3	・ロボットにしてもらいたい農作業は何かを読み取る ・助動詞＋受け身の文法構造・用法を理解する
	Section 3 ドローンなどの先進技術による将来の展望	3	・技術の進歩によって、社会がどのように変化するかを読み取る

			<ul style="list-style-type: none"><li>・さまざまな伝統舞踊／映画について、意見や感想を交換する</li></ul>
	まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"><li>・スマート農業／忘れられない経験／ポスターの感想／ドローンの危険性について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを詳しく話して伝え合うことができる</li></ul>

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
家庭総合	A・G・W科・2年	2

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 家庭総合 自立・養成・創造（東京書籍） <input type="checkbox"/> 家庭科学習ノート（熊本県高等学校教育研究会家庭部会編）
-------------	--

科目の目標		
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p>	<p>家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p>	<p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・生活に必要な知識や技術を理解し、身に着けることができた。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、自分の意見を説明できた] ・学習内容に関して自分事としてとらえ、自分の考えを記述したり、発表したりできた。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強く取り組む] ・問いに対して積極的に発言した。 ・忘れ物がなく、授業に真剣に取り組んだ。 ・提出物を期限に遅れず提出できた。
※定期考査、作品、学習プリント、発表、学習の記録、実技試験		※学習プリント、実習の記録 学習、実習への取り組む姿勢
<b>[A 評価]</b> ・家庭生活や地域社会にも目を向け、課題解決のために学習に取り組んだ。 ・学んだことや実習で身に着けたことを家庭で実践できた。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	食生活の課題について考える	4	・青年期の食生活の課題 ・「食べる」とは ・食生活の課題 ・食生活の変化
	食事と栄養・食品	2	栄養と栄養素 炭水化物
5	調理実習①	2	・みたらし団子、いきなり団子（予定）
		7	脂質 たんぱく質 無機質 ビタミン その他の食品
6			
	食品の選択と安全	3	食品の選択 食品の保存と加工 食品の衛生と安全
7	食物調理技術検定 4 級	6	・きゅうりの半月切り ・計量の仕方（計量スプーン・計量カップ）

8	ホームプロジェクト	2	・ホームプロジェクトの実施と発表
9	調理の基礎	3	・調理法や味付けのバランス ・食事の場面を考えた調理 ・野菜の切り方、だしの取り方
	調理実習②	2	・スパゲティミートソース、コンソメスープ (予定)
10	生涯の健康を見通した食事計画	4	栄養バランスのよい食事 食事計画
	調理実習③	2	・親子どんぶり、吸い物 (予定)
11	食生活の文化と知恵	4	・日本の食文化 ・世界の食文化
	調理実習④	2	・包子、清川鶉蛋、棒棒鶏 (予定)
12	これからの食生活	2	・食料生産と食糧問題 ・食の安全性 ・食をめぐる問題とその対策 ・持続可能な食生活
	調理実習⑤	2	・郷土料理講習会 (予定)
	調理実習⑥	2	・ロールケーキ (予定)
1	情報の収集・比較と意思決定	2	・消費生活と意思決定 ・よりよい意思決定のために
	購入・支払いのルール	2	・購入と契約 ・多様化する支払方法
	消費者の権利と責任	2	・消費者の権利を生かす ・社会とつながる消費者
2	生涯の経済生活を見通す	1	・経済的に自立する ・生涯を見通して働く
	家計をマネジメントする	2	・家計の構造を理解する ・家計資産のマネジメント
	これからの経済生活	2	・家計と国民経済・国際経済・地域経済 ・家計が世界を動かす
3	住生活の変遷と住居の機能	3	・住居の機能と変化 ・平面図を理解する ・住居の計画 ・誰もが住みやすい住居とまち
	安全で快適な住生活の計画	2	・住居の防災 ・健康な住生活 ・住みやすさの工夫

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
総合実習（担い手類型）	農業食品科・2年	4

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 各専攻で配付されるプリント <input type="checkbox"/> 日本農業技術検定3級テキスト・問題集 <input type="checkbox"/> 農業鑑定競技
-------------	--

科目の目標		
<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった、できた] ・よりよい野菜栽培を実現するための知識を備えている。 ・その時間の実習の目的を理解し、適切な管理実習ができる。 ・黒板・話の内容、自分の感想や疑問点などをメモに残している。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・よりよい野菜栽培について考えることができる。 ・授業や実習を通して疑問を持ち、質問したり記録用紙に記入したりしている。 ・その時間、得た知識や学んだことを説明できる。	<b>B 評価の規準</b> [気づき、理解しようとする態度] ・座学や実習を通じた気づきがあり、話したり記録したりすることができる。 ・理解するために行動できる（質問する、調べる）。 [実習態度] ・安全に気を付けて取り組むことができる（身だしなみ、返事、声掛け、授業準備等）。 ・丁寧かつ効率よく実習を進めることができる（時間の管理、周囲への配慮、協力等）。
※「知識・技能」、「思考・判断・表現」は、定期考査で主に評価します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
年間	各専攻の科目と関連した栽培・飼育管理	56	各専攻における専門技術総合実習、経営管理総合実習の実施。当番研修への参加（時間外総合実習）
4	学校農業クラブ活動 ・目的及び目標 ・農業鑑定競技	8	○学校農業クラブ各種競技及び学習活動の計画と目標設定
5	プロジェクト学習の実践 ・プロジェクト学習のテーマ設定 ・プロジェクト学習の準備	4	○PDCA サイクルの理解、課題設定によるテーマの決定
	プロジェクト学習の実践	4	○年間を通じた課題解決型学習
6	農業技術検定 ・3級取得のための学習	8	○農業技術検定3級取得のための学習



7	農業技術検定 ・ 3級取得のための学習	4	○テキストを使用し、農業技術検定3級取得のための学習
	プロジェクト学習の実践	4	○年間を通じた課題解決型学習
8			
9	プロジェクト学習の実践	2	○年間を通じた課題解決型学習
	農業技術検定 ・ 3級取得のための学習	2	○テキストを使用し、農業技術検定3級取得のための学習
10	プロジェクト学習の実践	2	○年間を通じた課題解決型学習
	農業技術検定 ・ 3級取得のための学習	2	○テキストを使用し、農業技術検定3級取得のための学習
11	プロジェクト学習の実践	4	○年間を通じた課題解決型学習
	農業技術検定 ・ 3級取得のための学習	4	○テキストを使用し、農業技術検定3級取得のための学習
12	プロジェクト学習の実践	8	○年間を通じた課題解決型学習
1	プロジェクト学習の実践	8	○発表するためのスライドや資料をわかりやすく制作する。
2	プロジェクト学習の実践 ・ 学習成果のまとめ ・ 目標到達度の評価 ・ 年間の学習の振り返り ・ 次年度の課題・目標設定	8	○発表するためのスライドや資料をわかりやすく制作する。
3	プロジェクト学習の実践 ・ 学習成果のまとめ ・ 目標到達度の評価 ・ 年間の学習の振り返り ・ 次年度の課題・目標設定	8	○年間のプロジェクト学習発表を行う。 ○プロジェクト学習のまとめを行う。 ○次年度の課題・目標を設定する。

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
総合実習	農業食品科（食品科学類型）・2年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 食品製造（実教出版） <input type="checkbox"/> 日本農業技術検定（全国農業高等学校長協会） <input type="checkbox"/> 配布プリント
------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解することができた。 ・関連する技術を身に付けることができた。 ・農業技術検定3級取得のための入門レベルを理解することができた。	B 評価の規準 [PDCA学習ができた] ・農業に関する総合的な課題を発見することができた。 ・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・班員の意見を取り入れた] ・農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができた。 ・テキストと過去問題集を用いて、自ら学習する態度が身についた。
※定期考査 （1学期末考査、2学期中間・期末考査、学年末考査） ※レポート・実習成果・発表・自学態度・検定結果を主に3観点を評価する。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	農業技術検定3級	2	栽培の基礎について理解することができる
	食品製造実習(まるめクッキー)	2	まるめクッキーの製造ができる
5	農業技術検定3級	2	作物・野菜について理解することができる
	食品製造実習(テーブルロール)	4	テーブルロールの製造ができる
6	農業技術検定3級	2	花き・果樹について理解することができる
	食品製造実習(イチゴジャム)	4	イチゴジャムの製造ができる
7	農業技術検定3級	2	家畜の飼育・農業機械について理解することができる
	食品製造実習(マドレーヌ)	2	マドレーヌの製造ができる
8			
9	農業技術検定3級	2	農業施設・農産物の加工について理解することができる
	食品製造実習(ブルーベリージャム)	4	ブルーベリージャムの製造ができる

10	農業技術検定 3 級	2	農業経営・農業と暮らしについて理解することができる
	食品製造実習(パウンドケーキ)	4	パウンドケーキの製造ができる
11	農業技術検定 3 級	2	過去問題集を解くことができる
	食品製造実習(ハム類)	6	ハム類の製造ができる
12	農業技術検定 3 級	2	過去問題集を解くことができる
	豆類の加工	2	豆類の加工について理解することができる
	食品製造実習(白玉水羊羹)	2	白玉水羊羹の製造ができる
1	いも類の加工	2	いも類の加工について理解することができる
	食品製造実習(スイートポテト)	2	スイートポテトの製造ができる
2	野菜類の加工	2	野菜類の加工について理解することができる
	食品製造実習(白菜キムチ)	2	白菜キムチの製造ができる
	食品製造実習(リンゴケーキ)	2	リンゴケーキの製造ができる
3	果実類の加工	2	果実類の加工について理解することができる
	食品製造実習(アップルパイ)	2	アップルパイの製造ができる

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
農業と情報	農業食品科2年 グリーン環境科2年	1

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 農業と情報（実教出版） <input type="checkbox"/> 補助教材 新編-情報 I（東京書籍）
------	---

科目の目標		
<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>農業の各分野における情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について、学校での実習や産業現場での体験を通し、その情報や情報技術を目的や条件に合わせて効果的に使いこなすことができる知識と技術を体系的・系統的に理解し身につけるようにする。</p>	<p>進展する情報社会の特徴や、多様で大量の情報と情報技術が産業社会や人間に与える影響、農業への先進技術や革新技術の活用方法などに関して考察したり、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもち、科学的な根拠などに基づいて効果的に説明したり、創造的に解決する力を養う。</p>	<p>農業情報を活用した事例を基に、環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら、その仕組みや効果について体系的・系統的に理解する大切さについて自覚を深め、また各種の情報の価値を適切に判断し、情報通信ネットワークを活用した情報の収集、情報手段を用いた調査・分析・統合・加工・発信ができる技術の習得に対して、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイピングが正しくできた。</li> <li>・学習内容に沿って、情報や情報技術を効果的に使用することができた。</li> <li>・課題内容を理解し、課題を解決するための適切な情報や情報技術を使用することができた。</li> </ul>	<p>B 評価の規準</p> <p>[考えることができた・適切な選択、活用ができた・説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を解決するために自らの考えを、科学的な根拠を用いて説明できた。</li> <li>・仲間と協力して行う課題に対して、仲間の意見を聞き、まとめることができた。</li> </ul>	<p>B 評価の規準</p> <p>[粘り強さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動に一生懸命に取り組み、仲間と協力して考え、課題を解決する方法を自ら模索しようとしている。</li> </ul> <p>[自らの学習への工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説明をメモしたり、自分なりにわかりやすいようにまとめるなどしている。また、課題を解決するだけでなく、さらに新たな課題を自ら考え、解決しようとしている。</li> </ul>
<p>※ 定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。</p>		<p>※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。</p>
<p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5 6 7	データの集計と視覚化	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトウェアの概要</li> <li>・表の作成と表計算</li> <li>・さまざまな関数</li> <li>・グラフの作成</li> </ul>
8 9	データベースシステムとオープンデータ	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースソフトウェアの概要</li> <li>・オープンデータの利用</li> </ul>
10	画像・図形処理ソフトウェアの利用	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像・図形処理ソフトウェアの概要</li> <li>・ペイント系ソフトウェアの基本操作</li> <li>・画像・図形処理ソフトウェアの応用</li> <li>・動画編集ソフトウェアの利用</li> </ul>
11 12	プレゼンテーションの概要	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの概要</li> <li>・プレゼンテーションソフトウェアの基本</li> </ul>

			操作
1 2	情報発信	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Web ページの概要</li> <li>• Web ページの作成準備</li> <li>• Web ページの作成</li> <li>• Web ページの公開</li> <li>• Web ページの評価と改善</li> </ul>
3	問題解決の方法	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題解決の流れ</li> <li>• 問題の発見と調査</li> <li>• 情報の収集と整理</li> <li>• 解決策の立案</li> </ul>

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
作物	農業食品科・2年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 作物（実教出版） <input type="checkbox"/> プリント
------	--

科目の目標		
<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、作物の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%



評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・身についた] ・作物の生産と経営について体系的・系統的に理解することができた。 ・生産性や品質の向上に向けた作物の栽培技術を身に付けることができた。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え・意見を持ち・表現することができた] ・作物の生産と経営に関する課題を発見することができた。 ・学んだことや疑問に感じたことなど、自らの考えを言葉や文章で表現することができた。	<b>B 評価の規準</b> [積極的に行動できた・協働することができた] ・作物分野に興味・関心を持ち、学習や研究に意欲的に取り組むことができた。 ・作物の栽培について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう主体的・協働的に取り組むことができた。
※定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	(1) 作物生産の役割と動向	2	○私たちの生活と作物
		2	○作物の生産と消費の現状
			■イネの育苗
5	(2) 作物の特性と栽培技術	6	○作物の生育とその一生
			■イネ田植え
6	(3) イネ	2	○作物の生育のすがた
		4	■イネの栽培
		2	■トウモロコシの栽培
7	ウ 栽培管理	4	○栽培、管理方法
8			■作物の栽培
9	エ 収穫と調製	4	○イネの収穫、調製について
		4	■イネの栽培
10	オ 品質と高価値化	4	○栽培方法による付加価値
		4	■イネの選別

11	カ 生育と収量の診断	2	○収量の診断
		6	■出荷調製
12	キ 農業経営の特性	4	○経営上の特性
		4	○流通と経営
1	(4) 流通とその改善	6	○プロジェクト学習まとめ
		2	○6次産業化について
2	(5) 有機農業の学習	4	○有機農業について
3	栽培計画	4	○次年度の作付け計画

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
野菜	農業食品科・2年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 野菜（実教出版） <input type="checkbox"/> プリント
------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・できた] ・野菜の生産について体系的・系統的に理解することができた。 ・生産性や品質の向上に向けた野菜の栽培技術を身に付けることができた。	<b>B 評価の規準</b> [考えることができた・適切な選択、活用ができた・説明ができた] ・野菜の生産に関する課題を見つけ、解決するために自らの考えを科学的な根拠を用いて説明・表現ができた。	<b>B 評価の規準</b> [積極的に行動できた・協働することができた] ・野菜分野に興味・関心を持ち、野菜の栽培について、生産性や品質の向上ができるように主体的・協働的に取り組むことができた。
※ 定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	(1) 野菜とプロジェクト学習	2	○プロジェクト学習について
	(2) 野菜生産の役割と動向	4	○野菜生産の役割と動向
	ア 野菜生産の役割		■メロンの栽培（ガラス温室）
5	イ 生活と野菜の利用	8	○野菜の消費
			■メロンの栽培（ガラス温室）
			■果菜類の栽培（露地）
6	ウ 野菜の流通と需給の動向	4	○野菜の生産と供給
			○野菜の安全性
			■メロンの栽培（ガラス温室）
7	(3) 野菜の特性と栽培技術	6	○野菜の種類と特徴
	ア 野菜の種類と特徴		■メロンの栽培（ガラス温室）
			■果菜類の栽培（露地）
8		2	■トマトの栽培（ガラス温室）

9	イ 野菜の生育と生理	8	○野菜の生育と生理
			■トマトの栽培（ガラス温室）
			■スイートコーンの栽培（ビニルハウス）
10	ウ 栽培環境と生育の調節	8	○野菜の栽培環境と生育調節
			■トマトの栽培（ガラス温室）
			■スイートコーンの栽培（ビニルハウス）
11	エ 品種改良と繁殖	8	○育苗の目的と方法
	（4）野菜の栽培と管理・評価		■トマトの栽培（ガラス温室）
	ア 品種の特性と選び方		■スイートコーンの栽培（ビニルハウス）
12	イ 作型と栽培計画	3	○野菜の栽培環境と生育調節
			■ハウスビニルの張替、温室ガラス洗浄
	ウ 栽培管理		○農業生産工程管理（GAP）について
1	（エ 商品化と生産物の管理・評価）	4	○人工環境における栽培技術
2	オ 機械・施設の利用	2	○野菜の育苗
			■メロンの播種・育苗
3	（5）野菜の生産と経営	2	○野菜の育苗
		2	■メロンの育苗
		2	■果菜類野菜の育苗

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
草花	農業食品科2年	2

使用教材	草花（実教出版）
------	----------

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花の生産と経営に必要な資質・能力を育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。	草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的活用動的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・草花の生産と経営について体系的・系統的に理解することができた。 ・生産性や品質の向上に向けた草花の栽培技術を身に付けることができた。	B 評価の規準 [よく考え・意見を持ち・表現することができた] ・草花の生産と経営に関する課題を発見することができた。 ・学んだことや疑問に感じたことなど、自らの考えを言葉や文章で表現することができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・協働することができた] ・草花分野に興味・関心を持ち、学習や研究に意欲的に取り組むことができた。 ・草花の栽培について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう主体的・協働的に取り組むことができた。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	草花園芸の特徴	2	草花の生産と経営
	花壇用草花生産の特色	2	花壇用草花の種類
	花壇用草花の栽培（実習）	2	春の花苗栽培（育苗）
5	草花園芸の特徴	2	草花の種類、草花の生産形態
	花壇用草花の栽培（実習）	2	花壇づくり（春～夏）
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（病虫害防除）
6	草花生産と消費の動向	2	生産・消費の動向、流通のしくみ
	花鉢もの（実習）	2	プリムラの栽培（播種）
		2	シクラメンの栽培（鉢替え）
7	草花の多面的利用	2	草花利用の意義、草花の利用
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（肥培管理）
8	花壇用草花の栽培（実習）	2	秋の花苗栽培（播種）
9	草花の生育と環境	2	草花の一生、根の成長と養水分の吸収
	花壇用草花の栽培（実習）	2	秋の花苗栽培（育苗）
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（病虫害防除）

10	品種改良と繁殖	2	草花の繁殖方法、種子繁殖、栄養繁殖
	花壇用草花の特色	2	花壇用草花の種類
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（葉組み）
11	草花の生育と栽培技術	2	草花の生育と土・水・肥料
	花壇用草花の栽培（実習）	2	花壇づくり（秋～冬）
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（播種）
12	草花の生育と栽培技術	2	草花の生育と土・水・肥料
	花鉢もの（実習）	2	プリムラの栽培（鉢上げ）
		2	シクラメンの栽培（育苗）
1	草花の生育と栽培技術	2	草花の栽培管理
	花鉢もの	1	花鉢ものの種類と特性
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（育苗）
2	花壇用草花の栽培（実習）	2	春の花苗栽培（播種）
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（鉢上げ）
3	鉢もの生産の特徴	1	鉢もの生産の経営、栽培管理の特色
		2	鉢の種類、用土、水と肥料
	花壇用草花の栽培（実習）	2	春の花苗栽培（鉢上げ）



## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
畜産	農業食品科・2年	2

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 教科書 畜産（実教出版）
-------------	---------------------------------------

科目の目標		
<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるように自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>家畜の育成方法と地域環境の保全など農業の多面的な機能について基礎的な知識と技術を身に付け、地域産業としての畜産業の課題を発見しながらその課題解決に向けて知識・技術を生かすことができる。</p>	<p>家畜の育成方法と地域環境の保全など畜産業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。</p>	<p>家畜の育成方法と地域環境の保全など畜産業について興味・関心をもち、主体的に課題の探求に取り組むとともに、他者と協働的に学習する態度を身に付けている。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・身についた] ・家畜の育成方法と地域環境の保全など農業の多面的な機能について基礎的な知識と技術を身に付けた。地域産業としての畜産の課題を発見しながらその課題解決に向けて知識・技術を生かすことができた。	<b>B 評価の規準</b> [よく考え・意見を持ち・表現することができた] ・家畜の育成方法と地域環境の保全など畜産に関する諸課題の解決を目指して思考を深めた。基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けた。	<b>B 評価の規準</b> [積極的に行動できた・協働することができた] ・家畜の育成方法と地域環境の保全など畜産について興味・関心を持ち、主体的に課題の探求に取り組むとともに、他者と協働的に学習する態度を身に付けることができた。
※定期考査		
A 評価。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	本校における畜産経営の理解	2	家畜用動物について理解する。
	学校農業クラブへの取組	2	学校農業クラブの意義、各種競技等
	「畜産」とプロジェクト学習	2	年間を通じた課題解決型学習
5	家畜の身体構造	2	ブタの特性と品種等について
	ブタの特性と品種	4	養豚形成の実践
6	畜舎の構造と設備の利用方法	2	様々な畜舎の利用方法について
	世界の中の日本の畜産	2	世界から見た日本の畜産業について
	立地と畜産の種類	2	国内の畜産業
	畜産の役割	2	畜産業が持つ役割の重要性と影響について
7	科学の発展と畜産への活用	2	先端技術による畜産業の変革
	先端技術を使用した畜産業の実践例	2	生産の向上による社会への影響
	飼料の特徴と給与の方法	2	飼料の特徴と給与量による家畜の変化
8	飼料要求率・飼料効率の関係性	2	飼料計算と給与量

9	ブタの繁殖と肥育	2	成育段階別の飼育方法の学習
	家畜の生理・生態	4	ブタの本能的習性の学習
	家畜排せつ物の処理と利用	2	家畜の排せつ物処理方法
10	家畜の出産と準備	2	分娩と分娩後の管理方法を学習
	子豚の去勢方法と目的	4	分娩介助・産後管理
	家畜の消化器官と消化・吸収	2	消化器官による役割と家畜への影響
11	ブタの病気と予防衛生	4	疾病の特徴と予防方法
	肥育豚の成育調査	2	実験・実習によるブタの成育調査と豚房の清掃
12	プロジェクト学習の実践	4	発表するためのスライドや資料制作
	養豚の経営	2	養豚経営の実際
1	防疫の視点（野生生物への対応）	2	予防によるブタの疾病対策
	飼料作物の特徴	2	飼料作物の種類と家畜への影響
	豚肉の販売と流通	2	豚肉の価値と価格の変動
2	畜産経営の基礎	2	畜産経営の概要について、実践例等を参考にしながら、畜産を取り巻く環境をベースに学習
3	環境・畜産経営の現状	2	
	畜産経営の改善	2	経営形態の変化及び我が国の支援策
	年間の学習のまとめ	2	記録及び单元ごとの自己評価

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
農業経営	農業食品科（担い手育成類型）・2年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 「農業経営」（実教出版）
------	---

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・身についた]</p> <p>・農業経営について体系的・系統的に理解することができた。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[よく考え・意見を持ち・表現することができた]</p> <p>・農業経営に関する課題を発見することができた。</p> <p>・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決することができた。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[積極的に行動できた・協働することができた]</p> <p>・農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるように自ら学ぶことができた。</p> <p>・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むことができた。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	日本と世界の農業	4	世界の農業の現状 日本の農業の現状 農業に必要な要素の特性とマネジメント
5	農業経営の動向	2	様々な農業経営 こんにちの農業経営
		1	【グループ討議】 現代日本における農業経営の課題と解決策
	食糧消費の動向と社会経済環境	2	消費者ニーズに沿った農業 食糧需給と貿易
		1	【グループ討議】 現代日本における食料事情の課題と解決策
6	食糧・農業・農村政策と関係法規	4	食糧・農業・農村政策
		2	グローバル化に対応する農政
	農業マネジメント	2	マネジメントの考え方
7	農業マネジメント	2	農業経営の目標
		2	農業の経営戦略
		2	経営者能力
8	農業マネジメント	2	農業経営の情報活用
9	農業マネジメント	2	【調査】篤農家の経営分析（経営戦略）

9	生産のマネジメント	2	単一経営と多角経営
		2	集約化と規模拡大
		2	【グループ討議】 農業経営規模拡大の利点と方法 ※日本の農業の課題を踏まえて
10	組織のマネジメント	2	農業経営の集团的取り組み
		1	農業法人経営
		1	雇用労働力の活用
		2	【グループ討議】 農業法人経営の長所と短所
11	組織のマネジメント	1	農業協同組合
	会計によるマネジメント	1	会計と簿記
		3	資産・負債・純資産と貸借対照表
		3	収益・費用と損益計算書
12	会計によるマネジメント	2	取引と勘定
		2	仕訳と転記
		2	試算表
1	会計によるマネジメント	2	これまでの振り返り
		4	決算
		2	財務諸表分析
2	会計によるマネジメント	2	原価計算
		4	【演習】農業簿記
3	会計によるマネジメント	2	損益分岐図表
		2	1年間のまとめ

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
食品製造	農業食品科・2年 (食品科学類型)	2

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 食品製造（実教出版） <input type="checkbox"/> 配付プリント
-------------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・身についた] ・食品製造について体系的・系統的に理解することができた。 ・関連する技術を身に付けることができた。	<b>B 評価の規準</b> [P D C A学習ができた] ・食品製造に関する課題を発見することができた。 ・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができた。	<b>B 評価の規準</b> [積極的に行動できた・班員の意見を取り入れた] ・食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができた。
※定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	食品製造の目的	2	食品衛生と行政
	製造実習	2	まるめクッキー
	製造実習	2	絞り出しクッキー
5	食品製造の意義と動向	2	食品製造の意義
	製造実習	2	まるめパン、ロールパン
	製造実習	2	メロンパン
6	食品製造の意義と動向	2	食品産業の現状と動向
	製造実習	2	パウンドケーキ（共立て法）
	製造実習	2	パウンドケーキ（別立て法）
7	農産物の加工・穀類の加工	2	穀類の種類と特徴・米
	製造実習	2	パウンドケーキ（全卵すり込み法）
8	製造実習	2	マドレーヌ（共立て法）
9	農産物の加工・穀類の加工	4	小麦
	製造実習	2	マドレーヌ（別立て法）
10	食品の変質と貯蔵	4	食品の変質とその原因、食品の貯蔵法
	製造実習	2	シフォンケーキ
11	農産物の加工・穀類の加工	4	パン・菓子類
	製造実習	2	シュークリーム
12	製造実習	2	スポンジケーキ



	製造実習	2	デコレーションケーキ
1	農産物の加工・穀類の加工	2	めん
	製造実習	2	うどん
	製造実習	2	大福
2	食品加工と食品衛生	4	食品と食品衛生、食中毒
3	製造実習	2	ゼリー（寒天、ゼラチン）
	製造実習	2	プリン

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
食品化学	農業食品科（食品科学類型）・2年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 食品化学（実教出版） <input type="checkbox"/> 配布プリント
------	--

科目の目標		
<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品の成分と栄養価値の利用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品化学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品化学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品化学について食品の成分と栄養を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・食品化学について体系的・ 系統的に理解することができ た。 ・関連する技術を身に付ける ことができた。	B 評価の規準 [わかった・身についた] ・食品化学について体系的・ 系統的に理解することがで きた。 ・関連する技術を身に付け ることができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・班員の意見を 取り入れた] ・食品化学について食品の成分と栄 養を理解し、農業の各分野で応用でき るよう自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的か つ協働的に取り組む態度を養うこと ができた。
※定期考査 （1学期期末考査、2学期中間・期末考査、学年末考査） ※レポート・実験成果・発表を主に3観点を評価する。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時 数	学習項目
4	食品化学の領域	2	「食品化学」の学習の内容と進め方について理解 することができる
	食品化学と食品製造	2	食品化学と食生活について理解することができる
5	食品の成分分析の意義	2	実験の心構えについて理解することができる
	食品の成分分析の意義	4	実験器具と様々な溶液の作り方ができる
6	食品の成分	2	食品成分の分類と働きについて理解することがで きる
	水分	2	水分の性質について理解することができる
	水分の定量	2	水分の定量実験ができる
7	無機質（ミネラル）	2	無機質の性質について理解することができる
	灰分の定量	2	灰分の定量実験ができる
8			
9	タンパク質	4	タンパク質の性質について理解することができる
	タンパク質の定性実験	2	ビュレット反応実験ができる

10	タンパク質の定性実験	2	キサントプロテイン反応実験ができる
	タンパク質の定性実験	2	硫化鉛反応実験ができる
	タンパク質の定量実験	4	アミノ酸態窒素の定量実験（ホルモル法）ができる
11	炭水化物	4	炭水化物の性質について理解することができる
	炭水化物の定性実験	2	フェーリング反応実験ができる
12	炭水化物の定性実験	2	銀鏡反応実験ができる
	炭水化物の加水分解	2	非還元糖の加水分解実験ができる
1	炭水化物の定量実験	4	還元糖の定量実験（ソモギー変法）ができる
2	酸と塩基	2	酸と塩基の性質について理解することができる
	酸と塩基の試薬調整	4	中和滴定実験ができる
3	有機酸の定量実験	2	クエン酸の定量実験ができる
	有機酸の定量実験	2	乳酸の定量実験ができる

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
食品微生物	農業食品科・2年 (食品科学類型)	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 食品微生物（実教出版） <input type="checkbox"/> 配付プリント
------	---

科目の目標		
<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品微生物の利用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品微生物について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品微生物に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を養う。	食品微生物について特質を理解し、農業の各分野で利用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・身についた] ・食品微生物について体系的・系統的に理解することができた。 ・関連する技術を身に付けることができた。	<b>B 評価の規準</b> [PDCA学習ができた] ・食品微生物に関する課題を発見することができた。 ・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができた。	<b>B 評価の規準</b> [積極的に行動できた・班員の意見を取り入れた] ・食品微生物について特質を理解し、農業の各分野で利用できるよう自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができた。
※定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	人間生活と微生物	6	微生物を学ぶにあたって、生活環境と微生物
5	人間生活と微生物	6	食品と微生物、食品微生物とプロジェクト学習
6	微生物の種類と特徴	8	微生物の種類、微生物の生育環境、微生物の遺伝
7	微生物の観察と取り扱い	4	微生物実験の基本
8	微生物の観察と取り扱い	2	微生物の分離と培養
9	微生物の観察と取り扱い	2	微生物の観察
	かびの分離と培養	6	クエン酸生産かびの分離と培養
10	かびの分離と培養	8	クエン酸生産かびの分離と培養
11	かびの分離と培養	6	クエン酸生産かびの分離と培養
12	かびの分離と培養	6	酵素生産かびの分離と培養
1	かびの分離と培養	6	酵素生産かびの分離と培養
2	かびの分離と培養	6	きのこの栽培
3	かびの分離と培養	4	きのこの栽培

## 令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
食品流通	農業食品科・2年 (食品科学類型)	2

<b>使用教材</b>	<input type="checkbox"/> 食品微生物（実教出版） <input type="checkbox"/> 配付プリント
-------------	---

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品の流通とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品流通について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品流通に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [わかった・身についた] ・食品流通について体系的・系統的に理解することができた。 ・関連する技術を身に付けることができた。	<b>B 評価の規準</b> [P D C A学習ができた] ・食品流通に関する課題を発見することができた。 ・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができた。	<b>B 評価の規準</b> [積極的に行動できた・班員の意見を取り入れた] ・食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるように自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができた。
※定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	「食品流通」を学ぶにあたって	4	食品流通とプロジェクト学習
5	現代社会と食品流通	6	流通の始まりと発展
6	現代社会と食品流通	8	流通の働き、食品流通の役割
7	経済活動と食料	6	経済の発展と食料消費、世界の食料事情
8	経済活動と食料	2	日本の食生活
9	経済活動と食料	6	食料需給と自給率、 私たちがとりまくフードシステム
10	食品流通のしくみと働き	8	食品流通の特徴、食品流通のしくみ
11	食品流通のしくみと働き	6	価格の形成と流通経費
12	おもな食品の流通	6	米の流通、麦の流通
1	おもな食品の流通	6	青果物の流通
2	おもな食品の流通	6	畜産物の流通
3	おもな食品の流通	6	加工食品の流通



## 令和6年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数
ビジネス基礎	総合選択2年	2

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 ビジネス基礎（実教出版） <input type="checkbox"/> ワークブック ビジネス基礎準拠問題集（実教出版） <input type="checkbox"/> 検定問題集 全商商業経済検定模擬試験問題集（実教出版）
------	--

科目の目標		
<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力と次のとおりに育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決ことについて考えている。</p>	<p>ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>B 評価の規準</b> [理解できた・完成した] ・【ワークブック】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している。</u>	<b>B 評価の規準</b> [発展した学習によく考え、取組み、説明できた] ・【設問】や【テレビ学習】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを発表できている。</u> ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	<b>B 評価の規準</b> [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、ネット副教材にじっくり取り組むことができる。 [自分なりの工夫] ・自分の到達目標を決め、予習復習、進んだ学習ができている。商業経済検定3級は全員受験。マーケティング2級は、問題集を各自購入し、11月から独学です。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1章 商業の学習とビジネス	1	商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解します。
	1. いざ、ビジネスの世界へ	2	ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて学びます。
	2. 私たちの社会とビジネス	2	実践する力、職業人として必要な豊かな人間性、他者と協働する力を身に付けます。
5	第2章 ビジネスとコミュニケーション	2	ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学びます。
	1. コミュニケーション		
	2. ビジネスマナー		
	3. 情報の入手と活用		

		2	ビジネスマナーの意義を理解し、場面に 応じて考え、活動できる力を身に付けま す。
6		2	企業活動における情報の重要性を理解 し、情報活用及び評価・改善を行います。
	第3章 経済と流通の基礎 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通	1	経済の仕組みと流通の必要性について理 解します。
		2	経済の基本概念、流通の役割など経済と 流通に関する知識を基盤として、流通に関 する課題を発見し、その解決方法を考えま す。
7		3	流通を支える組織の一員としての役割を 果たすことができる力を身に付けます。
	第4章 さまざまなビジネス 1. ビジネスの種類 2. 小売業 3. 卸売業 4. 金融業 5. 情報通信業	2	ビジネスの種類について理解し、流通や 流通に関わるビジネスについて学びます。
8		2	流通や流通に関わるビジネスに関する知 識を基盤として、流通や流通に関わる様々 なビジネスに関する課題を発見し、その対 応策を考えます。
9		3	流通や流通に関わる組織の一員としての 役割を果たすための力を身につけます。
	企業活動の形態と組織、マーケテ ィングの重要性と流れなど企業活動 に必要な知識を学びます。	2	企業活動の形態と組織、マーケティング の重要性と流れなど企業活動に必要な知識 を学びます。
10		3	企業活動に関する知識を基に、企業活動 の動向など、企業活動に関する課題を発見 し、その対応策を考えます。
		2	企業活動の展開について、組織の一員と しての役割を果たすことができる力を身に つけます。
11	第6章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順	3	売買取引、代金決済など取引に関する知 識や技術を学びます。

	2. 代金決済		
		2	取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考えます。
12		2	契約の履行と締結について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。
	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用	1	ビジネス計算に関する知識や技術を学びます。
		2	ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。
1		2	
	第1章から第3章までのまとめ	2	第1章から第3章までの総まとめ、復習、そして新たな展望を切り開くため、学習のおさらいを行います。
		1	
2	第4章から第7章までのまとめ	5	第1章から第7章までの総まとめ、復習、そして新たな展望を切り開くため、学習のおさらいを行います。
3	第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向	1	さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学びます。
			ビジネスの振興による地域の発展について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。